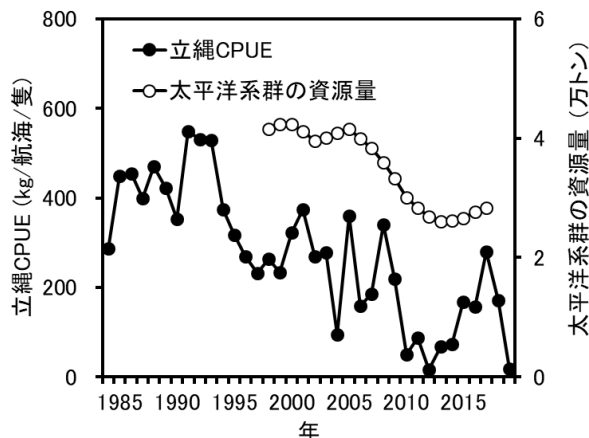


キンメダイ

令和元年12月

資源の動向 「低位・減少」



立縄CPUE (kg/航海/隻)と太平洋系群の資源量の推移

主に東京湾口から伊豆諸島北部海域で操業する本県立縄（一本釣）漁船のCPUE（1隻1航海当たりの漁獲量）は、1980年代には高い水準であったが、1993年を境に急減し、2012年に最低値を記録した。その後、2015年に小型魚の高い加入（=卓越年級）がみられたものの、黒潮大蛇行により従来のキンメダイ漁場での操業が難しくなった影響もあり、2019年のCPUEは1984年以降で2番目に低い水準であった。

キンメダイ太平洋系群の資源量は2005年を境に大きく減少しており、2018年度の国の資源評価においても、資源水準は「低位」、動向は「減少」とされている。

対象漁業

- 底立延縄
- 立縄（一本釣）



生物学的特性

- 分布：世界の熱・温帯域に広く分布する
日本近海では房総半島から伊豆半島沿岸、伊豆諸島周辺、四国沖、南西諸島周辺に多くみられる
- 移動：大陸棚斜面や海山に着底し、成長に伴い沖合の深場へ移動
- 成長：尾叉長は5歳で30cm前後、10歳で38cm前後（寿命は26歳以上）
- 産卵期等：6～10月（盛期は7～8月）

